

首都高日本橋地下化検討会

設立趣意書

首都高速道路（以下、「首都高」という）は、先の東京オリンピックに合わせ、緊急的に整備されて以来、我が国の経済活動を支える重要な基盤施設としてこれまで大きな役割を担ってきた。しかしながら、建設から長い年月が経ち老朽化が進んでいる一方、整備に急を要したことから、日本橋周辺では首都高が川の上空を通過しており、現在から振り返れば、貴重な水辺空間を消失するなど、周辺景観に与える影響について様々な議論がされてきたところである。

このような状況の中、平成26年にこの区間も含めた首都高の大規模更新計画が策定されるとともに、平成28年には日本橋周辺で検討が進むまちづくりの取り組みが、国家戦略特区の都市再生プロジェクトに追加された。

この機会を捉え、民間の発意によるまちづくりの展開と連携して首都高を地下化することにより、国際金融都市にふさわしい品格のある都市景観の形成、歴史や文化を踏まえた日本橋の顔づくり、沿道環境の改善など様々な効果が期待される。

また、中央区から、国・都に対し、首都高の地下化への申し入れがされるなど、地元の機運も高まっている。

これらのことから、国、東京都、首都高速道路（株）に地元である中央区を加え、日本橋周辺のまちづくりと連携し、首都高の地下化に向けて、関係者で計画案（線形や構造、対象区間など）について検討していくことを目的として、「首都高日本橋地下化検討会」を設置するものである。